

みんなの「なんなの？」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)



信毎こども記者ニュース

発行/信毎こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.24

まも

もり

たから

やま

守ろう! 森は宝の山

こども取材教室

★木曾町

信濃の国3番
木曾の谷には真木茂り
 ~木曾谷にはヒノキなどが
 生いしげり~

信毎こども記者クラブは5月21日、取材教室「たんけん 信濃の国 木曾編」を木曾町の木曾青峰高校で開きました。県内各地から小学生10人が参加しました。
 青峰高校の生徒たちや先生から、木曾ヒノキ

のことや森を守る大切さなどを教わり、その後、近くの同校演習林へ。ヒノキの伐採見学やスギの枝打ち、葉っぱのしやぶしやぶなど、五感(見る、聞く、さわる、味わう、かぐ)をフル回転させて体験取材をしました。

たんけん「信濃の国」
木曾編

★木曾町

5月28日の「信毎こども新聞」にも4人のこども記者の記事がのっていますよ!

こども新聞

木曾の谷には真木茂り

見てさわって食べて
森を守る人のくらしを体験取材したよ!
こども記者のコメント紹介



池田裕紀記者
 長野市5年

木曾はじめてなのでとても楽しみでした。木曾のヒノキは日本三大美林の一つで、全国から愛されていると分かりました。枝打ちの作業は、風がふいている時もやっているというのでびっくりしました。

小山奈乃実記者
 上田市6年

高校生に枝打ちのポイントを教えてくださいました。①山の中に日があるようにする ②成長しやすくする(枝が当たるとのびなくなる) ③木材にするのに、ふしがあるともろくなるのでふしを取る(枝打ちは、ふしを取る事とつながります)。そして実践。ジョリジョリジョリバギッ。太い枝を切れました。またきかいがあつたら切りたいです。

- 井沢潤記者
- 奥山ときは記者
- 榎原立冬記者
- 宮下能記者

南河凜記者
 長和町5年

食べられる葉はあくど毒がなく、かたくないものです。食べられない葉は少ないです。でも食べてしまうと死ぬこともある葉もあります。ミズナはしゃきしゃきしてあまり味がなく、サンショウは舌がスーとしました。

溝口開人記者
 伊那市5年

一番びっくりしたのが、木曾のヒノキがたくさん城や神社につかわれていたということです。有名なのが、豊臣秀吉がつくった大坂城です。しかし、切りすぎて、ほごするために「ヒノキ1本首ひとつ」という言葉までできたそうです。木を使わなければいけないけれど、育てることも必要なんだと思いました。

→森にある山菜をしゃぶしやぶにして食べたよ

取材教室レポート

森の草も食べました。ヨモギをしゃぶしやぶしたものとコシアブラの天ぷらを食べました。コシアブラは、いつも家で食べているよりしんせんさがあつておいしかったです。ヨモギはコーヒーよりもりがかつたので食べた後に水を飲みました。木についてとつても物知りになれたのでいい勉強になりました。

えだ打ちを初体験しました。えだ打ちは7~8cmより下の小えだを切ると、宮下先生から教わりました。左手でしっかりと木をつかみ、はしこに足をかけて、のこぎりで木を切りました。自分ではとつてもうまくできたと思いました。

森の草も食べました。ヨモギをしゃぶしやぶしたものとコシアブラの天ぷらを食べました。コシアブラは、いつも家で食べているよりしんせんさがあつておいしかったです。ヨモギはコーヒーよりもりがかつたので食べた後に水を飲みました。木についてとつても物知りになれたのでいい勉強になりました。

森は大切
奥山幸奈記者
 松本市6年

森はとつても大切だということを学びました。山に木がないと、土砂くずれがおきたりします。なので森は大切だと思いました。

木曾青峰高校のお姉さんやおにいさんが授業で使っている山に登って森について勉強しました。

自然のにおい
リラクセス

小山いつ留記者
 上田市4年

枝打ちのしごとをおえて、橋にむかって行きました。橋はゆらゆらゆれていました。その下は川が流れていました。魚が泳いでいたのであの魚は何ですか、と聞いたらイワナだよと言ってくれました。今度つりに来たいなと言ったら、いいよ、と言ってくれました。うれしかったです。

そして、木のおいをかぎました。ヒノキは、つーんというにおいはしませんが、緑みたいな自然のにおいがしてリラクセスできる感じでした。皮をはいですぐだとしめていてじめじめしている感じになりました。35分くらいつても、においやじめじめしている感じが少しのこっていました。楽しくできたりして、よかったです。自分では思います。楽しかったです。

みんなで集合写真を撮ったよ!